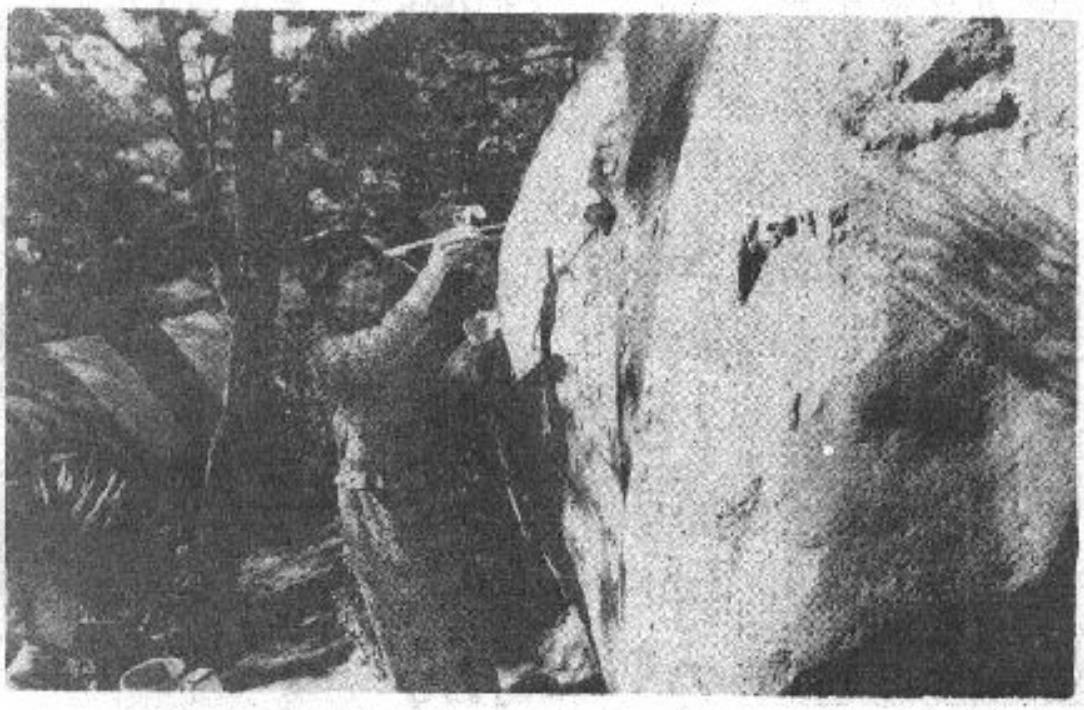
文学祭”主役”偲ぶ

第50回牧水祭 孫の榎本さんが献酒



【沼津】沼津市ゆかりの歌人、若山牧水を偲ぶ第五十回沼津牧水祭＝沼津牧水会主催＝の碑前祭

・芝酒盛りが十九日、千本公園内の幾山河歌碑前で行われた。斎藤衛市長ら来賓、牧水短歌ファンら約七百人が出席、心に刻まれた牧水の思い出話にはなを咲かせた。

碑前祭では、林茂樹沼津牧水会理事長が今年沼津市が市制八十周年を記念して創設した「沼津文学祭」のテーマに「牧水新たな旅立ち」を取り上げたことに感謝した。続いてあいさつに立った斎藤衛市長は、牧水はじめ芹沢光治良、井上靖、明石海人ら沼津にゆかりの文学者の名をあげ「沼津には感性を刺激する部分があるのではないか。沼津の良さをPRしていかなければいけない」と文学面から沼津をPRしていくと述べた。

さらに歌碑に献花、献酒を行ったあとあいさつした牧水の孫、榎本富子市若山牧水記念館館長は「牧水は大正九年に沼津に移り住んだあと市制五周年の参加しました。七十五回忌の今年、市制八十周年に参加できるのはありがたいことです」などと牧水と沼津の関わりを語った。

この後、中学生短歌コンクールの表彰、合唱などがあったあと恒例の芝酒盛が始まり、太鼓グループようそろによる「沼津牧水太鼓」が響く中、参加者は牧水を偲んで酒を汲み交わした。

◇　◇

第十四回中学生短歌コンクールの特選入選者は次のとおり。敬称略。

米山祐介（第五）、杉本さやか（第二）、斎藤慎吾（第五）、渥美祐輔（愛鷹）、手塚亜純（浮島）、岸誠人（暁秀）、栗原あかり（第四）、中村尊郁（原）、後藤悠（第三）、大津菜穂子（大平）

【写真】「幾山河」歌碑に献花・献酒を行う牧水の孫榎本富子市若山牧水記念館館長＝千本公園で